

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	1		
科 目 名	教育原理	科目コード	E320101		
担 当 者	光成 研一郎				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.9	4.1	3.9	4.2	4.1	
学生へのメッセージ					
<p>今年度は再履修者を減らすべく、試験範囲や出題内容についても細かくアナウンスしました。そのかいあってか、再履修者の数は減りそうです。皆さんのコメントを読むと授業を進めるのが速と感じた学生が一定数いたようなので、来年度はもう少し進め方について配慮したいと考えています。しかしながら速と感じる学生がいるのと同様に遅いと感じる学生もいるので、そのあたりの兼ね合いが難しいですね。再履修の学生はなぜ今年パスできなかったのかを考え、来年にいかしてください。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	1		
科 目 名	基礎図画工作Ⅱ	科目コード	E321401/E321402		
担 当 者	藤本由佳利				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.5	4.7	4.7	4.6	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>初回にお聞きしたとき、美術が苦手だという方が多かったのにも関わらず、苦手意識を克服されたことを嬉しく思っています。これからも初心を忘れずに、よい人生を歩まれることを期待しています。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	1		
科 目 名	保育者論	科目コード	E330101		
担 当 者	中田尚美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	3.8	3.7	3.9	3.7	
学生へのメッセージ					
<p>この講義では保育者の役割、倫理、専門性、連携・協働、キャリア形成などについて学びました。この講義での学びを基礎にして、それぞれの方が、保育職についての理解をさらに深めていかれることを願っております。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	1		
科 目 名	子ども家庭福祉	科目コード	E330401		
担 当 者	橋本好市				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.8	4.0	3.7	4.1	4.1	
学生へのメッセージ					
<p>学生の理解ために、一生懸命に講義を取り組んだつもりでしたが、心を病むほどのこれまでにない最も厳しい授業評価点でした。自由記述にも厳しくかつきつい意見をたくさんいただきました。</p> <p>改善への努力に善処します。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	1		
科 目 名	発達心理学	科目コード	E331801		
担 当 者	柳原利佳子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.8	4.1	4.1	4.2	4.1	
学生へのメッセージ					
<p>保育士資格選択必修科目でしたが、学科の多くの方に履修いただきました。青年期からの発達を扱う科目であるため、授業を受けるみなさんにとっては、近い過去の自分の発達を振り返り、さらに将来のこともイメージしていくことを期待していました。身近に考えることのできる内容が多く出てきたと思います。特に、アイデンティティは今後の進路選択を考える上でも、自分を見つめなおす機会として、青年期以降の卒業後の人生でも考え続けてほしい内容です。時折思い出してみてください。</p> <p>アンケートに回答していただきありがとうございました。機械の扱いにもたついていたこともあり指摘を受けました。少しずつではありますが、慣れてきているつもりです。次年度からの科目ではもう少しスムーズに使いこなせるようになりたいと思います。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	1		
科 目 名	保育内容総論 AB	科目コード	E333201・E333202		
担 当 者	中田尚美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.6	3.9	3.6	3.9	3.9	
学生へのメッセージ					
<p>この授業は保育の全体的な構造を知り、子どもの発達特性をふまえた保育内容の在り方、保育の多様な展開について理解を深めることを目指しています。</p> <p>この授業における学びを礎として、さらに保育について理解を深め、保育者を目指す学生として成長していただきたいと思います。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	1		
科 目 名	英語コミュニケーションⅡ	科目コード	F120707/F120708/F120709/F120710		
担 当 者	脇本聡美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.0	4.3	4.4	4.3	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>小テストや課題が多い授業でしたが、よく頑張ったと思います。一人ずつパワーポイントを使った英語発表を課題としました。これは準備が大変だったと思いますが、毎回、みなさんの発表をととても楽しませてもらいました。</p> <p>コミュニケーションの手段として英語を使えるようになることは、今以上に必要になることが予想されます。中学校や高校で英語学習につまずいてしまった人も少なからずいると思いますが、今の段階でそれぞれがもっている英語の力を使ってできることがある、ということはこの授業で実感してもらいたいという思いで授業をしました。みなさんに取り組んでもらったペアワーク、グループワーク、英語発表、エッセイなどを通して、自分の知っている英語を使ってコミュニケーションを取ることができる、と感じてもらえたのなら、とても嬉しく思います。できることをさらに広げることを目指して英語学習を続けていってほしいです。また、海外のことやできごとに興味を持つことも大事です。</p> <p>メッセージを書いたくれた学生さんが何人もいました。ありがとうございます。「楽しかった」、「この授業を受けてよかった」という声や、「ずっと説明を聞くのではなく自分たち考える時間を沢山作ってくれた」、「考えるのが楽しかった」、「簡単な単語を使って話そうという目標がよかった」という、授業で目指していたことを理解してくれたとわかる声もあり、とても嬉しくなりました。</p> <p>使わなければ英語力は伸びません。好きなアーティストの英語の歌やインタビュー、英語の映画、英語の雑誌、英語絵本などなんでもいいので、これからも英語と関わり続けてください。英語学習で困ったことや、質問があるときは、いつでも研究室を訪ねてくださいね。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	1		
科 目 名	基礎研究演習 I	科目コード	E323001		
担 当 者	山下敦子 笹井隆邦 柳原利佳子 大城亜水				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	4.3	4.4	4.3	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>この授業はゼミ別で実施しました。感想を読んでいると、それぞれの先生の持ち味がゼミで出ていたようです。基礎研究演習 I の目的は、みなさんの将来の就職先について早い段階でイメージすること、その志に向かって早くから準備を進めること、そして大学の学びや生活に慣れるようにすることでした。見学実習で将来の進路が定まった人、KIT の実習で自分の適性についてもう一度考えた人もたくさんいるようです。また、都度、面談をして相談にのってくれたのがよかったという感想もありました。そうした少人数の良さや実習を多く取り入れることのメリットを今後も続けていきたいと考えています。また、ゼミごとで行う内容が異なるということについて改善して欲しいという意見もありました。担任の個性を活かしながら、共通で取り組む内容も工夫していきたいと考えています。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	2		
科 目 名	子どもの健康と安全 AB	科目コード	E331401・E331402		
担 当 者	唐木 美喜子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.7	4.7	4.7	4.8	
学生へのメッセージ					
<p>朝早くからの授業で大変だったと思います。いつも言っていますが、仕事をするようになれば朝からの出勤になりますので、私は午前の授業は意義があると思っています。</p> <p>到着したとたんに突っ伏してしまう人もいて、これで仕事ができるのかしらと心配していました。発表やロールプレイ、実技も熱心に取り組んでくださって、とても楽しい毎日が送れたことに感謝しています。</p> <p>皆さんは、いつも真面目に課題に取り組み、とても熱心に講義を聞いている姿勢に感心しました。私は毎回の3つの質問の回答をいつもとても楽しみにしています。皆さんの本音が少し覗けたと思っています。質問の回答でディスカッションができれば、もっと面白かったと思います。</p> <p>教科書の内容だけでは、全てが伝えられないと思い、資料を足していった結果、毎回、内容が多い演習となってしまいました。しっかりついてきてくれたことに驚いています。子どもに関わる仕事を目指す人には、知っておいてほしいことがたくさんあり、まだまだ伝えきれていません。後は、君たちがこれからの授業の中で積み重ねてほしいと思っています。</p> <p>子どもと大人は違います。子どものことを知れば知るほど幅広く奥深い知識が必要になってきます。子どもは日々関わる教師の影響を全身で受け止め、それを大人になってもよく覚えています。大きな可能性を秘めている子どもの全てに興味をもち、子どものことをよく知って、子どもに寄り添い育み、適切な対応ができる保育者になってほしいと願っています。</p> <p>膨大な資料は、教科書と共に見てもらえるよう配布しました。今度は、君たちが教える立場を目指して進んでいくわけですから、どんな保育者になり、どんな子どもを育てたいかをしっかり持って頑張ってください。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	2		
科 目 名	子どもの理解と援助	科目コード	E331701・E331702		
担 当 者	柳原利佳子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.8	4.3	4.3	4.4	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>この科目では毎回の授業の中で、事例を出しながら保育者となるために、誰のどのような気持ちにアンテナを張る必要があるのか、ということを考えてもらえるように進めていったつもりです。来年からは本格的な実習が始まります。是非いろんな人の視点に立って観察し、保育に活かせるようになってほしいと思います。アンケートに回答していただきありがとうございました。いただいたご意見を参考にして、配布資料の印刷やグループワークの時間配分や発表方法の変更について、次年度の授業では考えてみます。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	2	
科 目 名	保育の計画と評価	科目コード	E333001	
担 当 者	多田琴子			
カテゴリー別授業評価調査結果				
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)
4.3	4.4	4.3	4.5	4.5
学生へのメッセージ				
<p>教科書がない幼児期の教育（保育）は、保育者の先を見通す力が必要です。この授業では、保育計画の基本となる目指す子ども像（教育目標）に向けての保育計画であること意識して伝えました。</p> <p>保育の方法は園ごとに異なることを実感して理解できるように、グループで一園の、ある月の指導計画を立てる方法を取りました。</p> <p>64名の定期テスト受験資格学生の内40名がアンケートに答えています。内、3名の学生から授業の改善点すべき点の記載がありました。</p> <p>内容は次の4点です。</p> <p>①課題が多い2名。          ②早口で聞き取りにくい1名          ③スライドの進みが早くついていけなかった1名          ④説明不足が多く、聞きに行っても先週説明したといわれたが、誰に聞いてもそのような説明はされていないことばかり説明されていた1名。</p> <p>このことから授業中の説明が届いていないグループ、又は、個人があったようです。</p> <p>授業方法が4.3と低いです。しかし、「聞きやすい話し方だった」「授業の速度は適切だった」の2つの設問で、2点評価が各2名いたことから、改善すべき点としての、課題が多いの2件と、早口が1件、進み方が早いのが1件の2人であろう。ということが推察されます。</p> <p>40名回答中2名ですので一割には満たないですが、未回答学生の中にも同じような思いの学生がいるのであろうと推察することができます。多田の特性ですので、今後さらに意識いたします。</p> <p>回答40名の内半数の学生が、学生自身以外の4項目で5評価をしています。4評価を合わせるとすべての項目で75%を占める事から、多田の伝えたいことが何とか皆さんに伝わったのではないかと考えています。</p> <p>最後に、保育のねらい内容が分からずに保育することは、見通す力が無く、子どもがどのよ</p>				

うな方向で育とうとしているかを見ようとしなない残念な保育者です。

保育の意図をもって、育とうとしている事・育てたいことが分かり、子ども期にふさわしい環境が用意できる保育者を目指してください。

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	2		
科 目 名	保育内容（人間関係）AB	科目コード	E333701・E333702		
担 当 者	中田尚美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.8	4.4	4.4	4.6	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>この授業では、領域「人間関係」のねらい及び内容について、幼児の姿と保育実践とを関連させて理解を深めました。この学びを礎として、さらに主体的・対話的で深い学びを実現する保育を構想し実践する方法を身に付けていかれることを願っております。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	2	
科 目 名	保育内容（造形表現）	科目コード	E333801/E333802	
担 当 者	藤本由佳利			
カテゴリー別授業評価調査結果				
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)
4.0	4.9	4.9	4.8	4.8
学生へのメッセージ				
<p>殆ど欠席もせず、提出物もきちんと出されました。至らない点も多くありましたが、よい評価をしてくださってありがとうございます。今後、よい保育者となられることを期待しています。</p>				

学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	2		
科 目 名	社会的養護Ⅱ	科目コード	E334001		
担 当 者	川島直子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.9	4.8	4.9	4.8	4.9	
学生へのメッセージ					
<p>皆さんの意欲的に取り組む姿勢がとても素晴らしかったです。今後も頑張ってください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	2		
科 目 名	社会的養護Ⅱ	科目コード	E334002		
担 当 者	川島直子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.9	4.8	4.8	4.8	4.9	
学生へのメッセージ					
<p>皆さんの意欲的に取り組む姿勢がとても素晴らしかったです。今後も頑張ってください。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	2		
科 目 名	乳児保育Ⅱ	科目コード	E334201		
担 当 者	松尾寛子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.2	4.7	4.7	4.7	4.8	
学生へのメッセージ					
<p>多くの課題があったにもかかわらず、しっかりとその意図をくみ取って授業に取り組んでくれていたと思います。作った課題も実習で生かせるものを作っておられるということが感じられました。今の授業が将来の実習や現場で役立つということを見据えて授業に臨むことができる意識の高い学年だと感じました。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	2		
科 目 名	障害児の理解と支援Ⅱ	科目コード	E334401、E334402		
担 当 者	松尾寛子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.1	4.8	4.8	4.8	4.8	
学生へのメッセージ					
<p>授業の中で取り組んだロールプレイはとても熱心に取り組んでいたことが印象的です。学年によっては、現場の話が自分事としてとらえることができずに、理解できない時もありますが、皆さんの学年は、自分事としてとらえ、「楽しかった」というコメントまであったように、実際の事例を理解できる能力の高い学生さんが多い学年であるということがわかりました。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	2		
科 目 名	子どもと言葉	科目コード	E335301		
担 当 者	多田琴子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.5	4.9	4.8	4.8	4.9	
学生へのメッセージ					
<p>保育実習・幼稚園実習で使える実技（絵本の読み聞かせ実践）と教具（スチロール指人形・パネルシアター）の作成をできるだけ授業時間内に行いました。</p> <p>グループで実技と作成した教具を使用しての発表会を行いました。</p> <p>学外授業として、「こども本の森」の見学を行い、保育者として子どもを園外保育として図書館等に連れていく際の実践を行いました。</p> <p>皆さんからの授業評価は、A組とB組の授業評価に次のような差が出ました。</p> <p>カテゴリーI(学生自身) A 4.5 B4.3 (0.2) カテゴリーII(授業内容) A 4.9 B4.5 (0.4)          カテゴリーIII(授業方法) A 4.8 B4.2 (0.6) カテゴリーIV(学習成果) A 4.8 B4.5 (0.3)          カテゴリーV(総合評価) A 4.9 B4.4 (0.5)</p> <p>Aの学生からのコメントは4名で、この授業の楽しさと確かな学びの実感記述がありました。Bの学生からのコメントは2名で、この授業で改善すべき点の記述でした。「いやな先生だった」のコメントもありましたが、学習成果の設問3項目では、1点・2点がなかったので、保育者になる技術に関する学習意欲は下がらなかったことが推測できました。</p> <p>A組とB組との顕著な評価の差と、提出物（教具）の完成度との関係がみられました。相乗効果および逆相乗効果が発生したように感じ、担当者としての反省点であり課題であると感じています。</p> <p>学生の希望で、3グループで1つの発表会を行いました。前半発表グループは、グループ間の連携が取りにくく、発表会としては学生皆さんの自己発揮の機会が不十分であったと言わざるを得ないと感じています。</p> <p>保育所実習・幼稚園実習・施設実習の場で、この授業で作成した教具を使ってしこ紹介を行い、子どもとの信頼関係を築く第一歩、きっかけとしてください。実践は積むほどこなれてきます。コロナが第五類になれば、どんどんボランティア等に励み、将来子どもの前に立つための技術を磨いてください。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	2	
科 目 名	子どもと言葉	科目コード	E335302	
担 当 者	多田琴子			
カテゴリー別授業評価調査結果				
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)
4.3	4.5	4.2	4.5	4.4
学生へのメッセージ				
<p>保育実習・幼稚園実習で使える実技（絵本の読み聞かせ実践）と教具（スチロール指人形・パネルシアター）の作成をできるだけ授業時間内に行いました。</p> <p>グループで実技と作成した教具を使用しての発表会を行いました。</p> <p>学外授業として、「こども本の森」の見学を行い、保育者として子どもを園外保育として図書館等に連れていく際の実践を行いました。</p> <p>皆さんからの授業評価は、A組とB組の授業評価に次のような差が出ました。</p> <p>カテゴリーI(学生自身) A 4.5 B4.3 (0.2) カテゴリーII(授業内容) A 4.9 B4.5 (0.4)          カテゴリーIII(授業方法) A 4.8 B4.2 (0.6) カテゴリーIV(学習成果) A 4.8 B4.5 (0.3)          カテゴリーV(総合評価) A 4.9 B4.4 (0.5)</p> <p>Aの学生からのコメントは4名で、この授業の楽しさと確かな学びの実感記述がありました。Bの学生からのコメントは2名で、この授業で改善すべき点の記述でした。「いやな先生だった」のコメントもありましたが、学習成果の設問3項目では、1点・2点がなかったので、保育者になる技術に関する学習意欲は下がらなかったことが推測できました。</p> <p>A組とB組との顕著な評価の差と、提出物（教具）の完成度との関係がみられました。相乗効果および逆相乗効果が発生したように感じ、担当者としての反省点であり課題であると感じています。</p> <p>学生の希望で、3グループで1つの発表会を行いました。前半発表グループは、グループ間の連携が取りにくく、発表会としては学生皆さんの自己発揮の機会が不十分であったと言わざるを得ないと感じています。</p> <p>保育所実習・幼稚園実習・施設実習の場で、この授業で作成した教具を使ってしこ紹介を行い、子どもとの信頼関係を築く第一歩、きっかけとしてください。実践は積むほどこなれてきます。コロナが第五類になれば、どんどんボランティア等に励み、将来子どもの前に立つための技術を磨いてください。</p>				

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	2		
科 目 名	子どもと身体表現	科目コード	E335601・E335602		
担 当 者	近藤みづき				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.2	4.8	4.8	4.8	4.9	
学生へのメッセージ					
<p>非常に高い授業評価結果から、皆さんが満足する授業が展開できたかと感じています。これも皆さんが積極的に授業に取り組んでくれたからだと感じています。</p> <p>自由記述欄をみると「他の授業ではあまり知ることのない、リズム体操ができて良かった。」「ほとんどの回で他者の表現に触れる機会があり、自分の表現の引き出しを増やすことができた」「自分たちで1から考えて一つの作品を創るという活動はなかなかできないことであり、とてもいい経験になった」というコメントがありました。一方で「なぜこの身体表現をするのかが良く分からない時があった。」「作品創りの時間がもう少しあっても良かった。」という意見がありました。表現の目的に関しては、はっきりと伝えきれてないので改善します。また、作品創りの時間ですが、皆さんに表現をインプットしてもらう時間や発表の予備の時間を考えると、増やすのはなかなか難しいのですが、次年度にどのような工夫ができるか検討します。</p> <p>「子どもと身体表現」の授業で皆さんが創った身体表現作品は、どれも趣向を凝らした本当に素敵な作品ばかりでした。小道具を極力少なくし、身体だけで表現させた作品や、音楽や衣装を工夫した作品がありました。また、皆さんのふりかえりコメントも的確なものが多かったです。今後、この経験を子ども達の表現活動につなげられることを期待しています。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	2		
科 目 名	国語	科目コード	E335701		
担 当 者	山下敦子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.0	5.0	5.0	4.9	5.0	
学生へのメッセージ					
<p>この授業が楽しかった、楽しみだったという声をたくさんいただき、「やった甲斐があったなあ」と感じています。授業というものは、「学んだ甲斐があった」という充実感が大切です。これから、教育実習や教職を経験するときに、子どもたちが「学んだ甲斐があった」と思える授業をデザインすることが何よりも大切だと思います。授業を受ける前の自分と授業を受けたあとの自分を比べて (Before After)、前よりも今の方が新しいことを知っている、できるようになったという実感があるべきです。今後も、そのような授業をみなさんには目指して欲しいです。そして、私も今以上に皆さんが「学んだ甲斐があった」と思えるような授業を実践していきます。「国語をきれいにさせない」これが、ライフワークです。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	2		
科 目 名	教科指導法 生活	科目コード	E337301		
担 当 者	山田 希代子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.3	4.6	4.6	4.5	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>生活科は1・2年のみの教科ですが、皆さんが学んできたように、幼児教育と小学校教育、低学年と中学年以降の学習をつなぐ大きな役割を果たす教科です。また、低学年カリキュラムの中核となり、各教科の学びを合科的・関連的に結び付けることで子どもに確かな学力をつける位置付けにあります。それだけに、「活動あって学びなし」という授業にならないよう、つきたい力を明らかにして授業することが求められます。低学年の子どもの心情や思考を予測する意義も理解したことと思います。</p> <p>年間指導計画案、単元計画案、学習指導案作成に時間をかけ熱心に取り組むことができました。特に、模擬授業では、教材を工夫し、自分の課題を明らかにしながら挑戦する姿が多く見られました。グループワークでは高い協働性が見られ、意欲的に学ぶことができていました。これらの努力で大きな学びの成果をあげることができました。</p> <p>また、生活科は子どもの身近な人・社会及び自然を学習の対象とします。これらは、時代の流れによって常に変化していきます。子どもたちの生きていく未来を描き、世界の動向を探り、常にこの「変化」をキャッチできる「アンテナ」を磨き続けてください。そして、子どもたちが将来幸せに生きていくために必要な資質・能力は何かと問い続けてください。</p> <p>皆さんと共に学ぶことができ、充実した時間を過ごせました。ありがとうございました。皆さんの成長と活躍を期待し、遠くからではありますが声援を送り続けます。心身の健康に気を付け、夢の実現に向かってください。(山田)</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	2		
科 目 名	教科指導法（図画工作）	科目コード	E337701		
担 当 者	藤本由佳利				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.3	4.9	4.9	4.9	4.9	
学生へのメッセージ					
<p>殆ど欠席もせず、真摯に授業に取り組まれました。よい先生となられることを、期待しています。大好きと言ってくださってありがとうございます。私も、皆さんが大好きです。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	2		
科 目 名	野外あそび実践	科目コード	E340201		
担 当 者	清水勲夫				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.0	4.8	4.8	4.9	4.9	
学生へのメッセージ					
<p>対面、体験実習を基本としながら野外泊授業も含め行いました。正直、不安もありましたが、皆の参加態度や表情を見てみると、かえってコロナが真剣にさせた側面もあってか終始前向きでした。この感覚を今度は子どもたちの前に立った時に生かして欲しい、次は君たちの役割の出番です、</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	2		
科 目 名	障害者福祉特論	科目コード	E341001		
担 当 者	橋本好市				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.0	4.8	4.7	4.7	4.8	
学生へのメッセージ					
<p>高い講義評価をいただき、また心温まるメッセージをいただき感謝申し上げます。これに甘んじず、講義内容の工夫等に精進してまいります。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	2		
科 目 名	基礎研究演習Ⅱ	科目コード	E323102		
担 当 者	中西 利恵				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.4	4.8	4.8	4.8	4.9	
学生へのメッセージ					
<p>担当者3名(藤本・近藤・中西)で3グループに分けての授業や、8・9月期の保・幼・施に分かれての学外実習、4年生とのジョイント授業、KITでの実習と、さまざまな形態で授業が実施されましたが、すべてにおいて、総じて熱心に取り組んでおられたと思います。実習事前指導を自然学校で欠席する学生が一部あったのが残念ですが、多くの学生において出席状況は良かったです。</p> <p>後期のKIT実習では、事前事後指導においてグループで準備・計画、そしてふり返りを行い、一連の学びのプロセスにより、保護者と一緒の状況での援助方法や、2歳以下の低年齢児を対象した実践・援助方法について学びを深められたと思います。前期授業で作成した保育教材を実践を生かして活動されたグループも多々ありました。3カ所のあそびのひろば共に、スタッフの先生方が丁寧に指導してくださいました。とても学びになったと思います。KIT実習だけでなくどの実習についても同様ですが、やはり準備に手間をかけた実践は、子どもにも保護者にも感動を届けますね。</p> <p>新聞の切り抜きも多くの学生ががんばって取り組んでいました。調べ学習等、自分で学びをひろげてまとめている学生が多くいました。</p> <p>4年生とのジョイント授業においては、2年生による評価用紙の自由記述には、総じて「3年次の実習に向けて準備ができてよかった」と感想が述べられており、特に、第2部の分科会では、時間いっぱいまで熱心に4年生から情報収集する姿がみられました。</p> <p>本年度は昨年度と異なり、コロナ禍の影響が改善されましたので、2つ目の到達目標である「グループワークを通して、自己と他者の思いや考え、表現の違いに気づき、比べ・まとめ・表現する」については、前期・後期を通して実践が可能となりました。各種グループワーク、そして最終段階で実施する学びの成果としてのポートフォリオを通じたグループワークから、多くの学生が1年間継続して学ぶ意義や達成感を感じていたことが、授業評価の結果に反映されたと考えます。</p> <p>最後に、ポータルから授業評価の依頼を配信しましたが、回答者数が少なかったのが残念</p>					

です。これからもポータルの確認をよろしくお願いいたします。

学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	3		
科 目 名	子どもの食と栄養Ⅱ A	科目コード	E331201		
担 当 者	進藤容子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.7	4.1	3.8	3.9	3.8	
学生へのメッセージ					
ご意見を書いてくださった方、ありがとうございました。今後に生かしたいと思います。					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	3		
科 目 名	子どもの食と栄養Ⅱ B	科目コード	E331202		
担 当 者	進藤容子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.0	4.7	4.7	4.7	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>子どもの食と栄養は、子どもの育ちの基礎となる学びです。今後も興味をもって理解を深めていってください。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	3		
科 目 名	子ども家庭支援の心理学	科目コード	E331601		
担 当 者	渡邊恵梨佳				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	4.7	4.8	4.7	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>本科目を受講した皆様。貴重なご意見等を頂きまして有難うございます。毎回の授業を学生の皆さんの様子等を考慮しながら進めておりました。講義が中心となる科目でしたが、なるべく毎回みなさん自身のことと照らし合わせて考えることができるようにしておりました。保育者として、または保護者の視点に立つためには、まずは自分ごとだとしたら？と事例も踏まえながら考えてもらうようにしておりました。何か少しでも今後の皆さんの実習や就職先で活かしてもらえればと思います。みなさんが今後も輝かれますよう願っております。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	3		
科 目 名	子ども家庭支援論	科目コード	E332301		
担 当 者	大城亜水				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.3	5.0	5.0	4.9	4.9	
学生へのメッセージ					
<p>本講義は、子ども家庭支援論における最新の話題や目新しい情報を提供するというよりも、これまでの家庭支援のあり方や制度の成り立ちなどを軸に、今後私たちは「何ができるのか」、「何をしていくべきか」を受講生のみなさんと一緒に考えるということに重点をおきました。本講義で培った知識や経験が、将来みなさんが就く職場で思う存分発揮できる機会となっていれば幸いです。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	3		
科 目 名	教育方法・技術論	科目コード	E334601		
担 当 者	光成 研一郎				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.5	4.5	4.5	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>良い評価をしてくれてありがとう。課題の解答をするときに口頭だけでなく、画面表示もしてほしいとのコメントがあったので、可能なところは来年度改善します。今年単位取得できなかった学生は、なにが問題だったのか自分で振り返って、今年と同じ結果（卒業延期になるからね）にならないように注意してください。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	3		
科 目 名	道徳教育の理論と実践	科目コード	E334701		
担 当 者	京極重智				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.1	4.7	4.7	4.8	4.9	
学生へのメッセージ					
<p>道徳教育の歴史や理論など実践とはあまり関連のない部分は退屈だったかもしれませんが、模擬授業は受講者同士で切磋琢磨してより良い授業づくりが進んでいったと感じています。道徳が教科化されたとはいえ、まだまだ教科としての道徳の実践が豊富にあるわけではないので、みなさんが小学校教員になってから、ぜひ様々な視点で道徳の実践を行ってください。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	3		
科 目 名	小学校体育	科目コード	E336601		
担 当 者	近藤みづき・三木伸吾				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.0	4.8	4.6	4.5	4.8	
学生へのメッセージ					
<p>授業評価結果を見ると、学科平均を上回る高い評価でした。皆さんがある程度満足いく授業が展開できたと感じています。私たちも皆さんの授業への真摯な取り組み、積極性、習得の早さ等、感心させられることばかりでした。</p> <p>自由記述がほとんどなかったので、良かった点、悪かった点の詳細が分からないのが残念です。</p> <p>最後に、授業で扱った「動感」という概念は、動きを覚える・覚えさせる活動時に必ず現れます。この授業で学んだことを忘れず、現場で活用されることを願っています。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	3		
科 目 名	保育実習指導 I	科目コード	E338001/E338002		
担 当 者	橋本好市				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.2	4.7	4.8	4.7	4.8	
学生へのメッセージ					
<p>高い講義評価をいただき、また心温まるメッセージをいただき感謝申し上げます。これに甘んじず、講義内容の工夫等に精進してまいります。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	3		
科 目 名	教科指導法特論 I	科目コード	E341701		
担 当 者	京極重智				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.7	5.0	5.0	5.0	5.0	
学生へのメッセージ					
<p>今回の講義が教員採用試験へのモチベーションアップと教職教養の知識獲得に結び付いてくれればと願うばかりです。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	3		
科 目 名	保育・教育課題研究Ⅲ	科目コード	E342201		
担 当 者	山下敦子 ほか				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.3	4.7	4.7	4.8	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>保育者養成コース、教員養成コースともに採用試験、就職試験を視野に入れた基礎力向上を目指しました。志望進路に向かってコツコツと努力することが何よりも大切です。アンケートの感想を読むと、先輩と縦のつながりができてよかった、友だち同士で協働で学ぶことができよかったという意見が多数ありました。情報をいろいろなところから得ることは、就職活動にはとても重要なことです。一方、自分のペースや自分に合った問題集で学習を進めたいという意見もありました。それも必要な事項だと考えます。今後、この授業のテキストや進め方を改善し、有益な授業としてバージョンアップするように計画していきます。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	4		
科 目 名	子どもと人間関係	科目コード	E335101		
担 当 者	中田尚美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.4	4.5	4.5	4.6	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>この授業では、現代の幼児の人間関係の育ちに影響を与えている社会的要因について理解を深め、幼児教育で保障すべき教育内容に関する知識を身につけることに注力しました。</p> <p>この学びを通して、みなさんが保育の問題解決の糸口を見つけ、卒業後それぞれの現場で活躍されることを祈念しております。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	4		
科 目 名	子どもと環境	科目コード	E335201,E335202		
担 当 者	大森雅人				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.6	4.6	4.7	4.7	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>半年間の受講、お疲れ様でした。これからの皆さんのご活躍を、心から願っています。</p> <p>最終試験レポートで皆さんに課した課題は、この授業を通じて特に考えて欲しかったところです。卒業された後も、さまざまところで活かして頂ければと思います。</p> <p>ここで、ひとつ話題提供します。最近、「チャット GPT」という文章自動生成 AI が、Web上で無料でサービスを提供していることをご存じでしょうか。この AI はかなり高性能で、教育分野にも大きな影響を与えそうです。例えば、今回の最終レポートの 1 番目の課題を質問してみました。以下が、AI が生成した回答です。</p> <p>「未来社会の姿は、現代のテクノロジーが飛躍的に進歩し、人々がより便利で快適な生活を送ることができるようになると予想されます。また、環境問題や社会問題など、現代社会が抱える課題に対する解決策が求められ、持続可能な社会の実現が求められるでしょう。そうした未来社会を生きる子どもたちには、以下のような資質・能力が求められると考えられます。</p> <p>創造性・発想力</p> <p>未来社会では、テクノロジーの進歩が続くため、新たな価値観やアイデアを生み出す力が求められます。創造的な発想力を持ち、新たなものを生み出すことができる子どもたちが求められます。</p> <p>(長いので、中略)</p> <p>グローバルな問題解決力</p> <p>未来社会では、環境問題や社会問題など、地球規模での課題が増えることが予想されます。そうした問題に対し、グローバルな視野で解決策を考え、行動することができる子どもたちが求められます。</p> <p>以上のような資質・能力を持つ子どもたちが、未来社会において活躍し、社会をリードしていくことができると考えられます。教育現場においては、こうした資質・能力を育むための取り組みが求められます。また、家庭や社会全体で、子どもたちがこうした資質・能力を身につけるための環境づくりが必要です。」</p>					

いかがでしょうか？まったく驚くべきクオリティです。そして、このAIがすごいのは、同じ質問をしても毎回異なる回答を返してきます。このAIが普及すると、教育の場のレポートのあり方が変わってくると思います。（私も、来年は課題を変更します。）

このように、科学技術は驚くべき早さで進化していますので、常に学び続けることが大切になると思います。皆さん、いつまでも輝き続けてください！！

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	4		
科 目 名	保育実践演習	科目コード	E342301 E342302		
担 当 者	松尾寛子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.9	4.7	4.7	4.7	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>授業の中で、対応が平等ではない、評価が平等ではないと感じられた回があったというコメントがありました。また、保育者視点ではなく保護者視点であると感じられた授業回もあったとコメントにありました。教員同士でどのような場面が平等ではないと感じたのか、確認し次年度以降学生さんが平等ではないと感じないような授業を心がけていきたいと思います。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	こども教育学科	学 年	4		
科 目 名	教職実践演習	科目コード	E342401・E342402		
担 当 者	中西 利恵				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.1	3.9	3.9	4.1	4.0	
学生へのメッセージ					
<p>4年生による発表とその後の分科会に対する2年生の評価はとても高かったです。4年生は発表もですが、分科会については各グループがいろいろ工夫し準備していました。授業教材や実習記録等、実物を用意し、板書や壁面も活用し、2年生がイメージしやすいよう環境を準備していた点は良かったです。そのため、2年生からは各グループの提供内容や提供方法に対し、具体的でわかりやすかった、知りたいことを知ることができた、役に立ったと、総じて4年生への感謝や尊敬がうかがえました。皆さんの「実習を伝える」のふり返りシートにも、2年生へ伝えることの意味や、学年を超えた交流の意義が記述されていました。全グループによる発表と分科会実施の目的達成度の高さがうかがわれます。</p> <p>ただ、自由記述には2名より、中西は教員としての資格がないと書かれていました。理由が書かれていましたが、それは授業の際に話していただきたかったです。また、どうして2年生に全員が発表せねばならないのか、昨年通り選別で良かったのにという意見もありました。発表方法については、皆さんで協議の上で決定したことです、そのような意見があったことは意外でした。</p> <p>次年度からは、グループ活動の際の授業方法として、教員コースの先生方にも参画してもらい、一緒に指導していく方法を検討したいと思います。</p> <p>また、「実習を伝える」の2年生評価の方法については、4年生がGoogleフォームの使用を提案してくれました。次年度は集計がしやすい評価方法を検討します。</p> <p>13・14回目のみつつん先生による「カラフルな姓の世界～みんな違って当たり前～」の講義については、みなさんのコメントから多くの気づきや学びがあったことがわかりました。みつつん先生もとても手応えを感じておられました。みつつん先生の授業で感じたことを社会に出ても時々思い出してください。</p> <p>最終回のレポートはみなさん丁寧に4年間を振り返り、自己分析、自己評価を展開されている様子に感心しました。4月から社会人ですが、どうぞここでの振り返りを忘れないで、進んで行ってほしいと思います。</p>					

ポータルで授業評価の依頼をしましたが、回答数が少なかったのが残念です。